

平成20年度 強い水産業づくり交付金 (経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	20-10	高知県	
メニューの内容	水産鮮度保持施設	(施設名)	製氷貯氷施設
事業実施主体	久礼漁業協同組合		
評価期間	平成22年度～24年度		
事業費	94,500 千円		
交付金額	47,250 千円		
成果目標	3年間の総便益	28,977 千円	
実績値	3年間の総便益	21,386 千円	
成果目標の達成率	73.80 %		
事業の目的	<p>久礼漁業協同組合では平成8年5月に製氷機施設を久礼新港背後地に建設し、水産業の発展に向けて取り組みを行ってきた。製氷機の建設によって作業の効率化が図られ魚の鮮度保持も可能となり、久礼漁民にとって製氷機は必要不可欠なものとなった。</p> <p>しかし一方で、近年の漁業者減少等に伴い、整備当時に比べて氷の必要量は減少しているが、現在の製氷施設は当初の需要に応じた規模(製氷10トン、貯氷20トン)となっているため、保守管理経費が必要以上にかかっている。</p> <p>また、17年頃から故障やトラブルが頻繁に生じて、その度に漁協が修理等の対応を行っているものの、漁船に積み込む氷や荷捌き用の氷を急遽他の漁協から調達せざるを得なくなる事態が度々起こっており、漁業生産活動や漁獲物の鮮度保持等に支障を来している。</p> <p>また機械の老朽化で氷の品質も低下し、十分な鮮度管理が出来ないことから利用者の不評を買っており、漁業者や仲買人の中には当漁協での氷の購入を避ける業者も多くなっている。</p> <p>このため、当製氷施設に現在の需要に見合った規模で、耐久性にも優れた製氷貯氷機器を導入し、保守管理経費を節減するとともに、漁業生産活動の円滑化や漁獲物の高鮮度化を図る。</p>		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の製氷施設の年間保守管理経費が大幅に軽減された ・頻繁に発生していた故障やトラブルが減少し、漁業者の負担軽減に繋がり、漁業生産活動の円滑化が図られた。 ・氷の品質が向上し、漁獲物の高鮮度化につながるようになったことから漁業者からの評価が上がり利用が増加した。 ・成果目標の補正については、事前評価時の「製氷機の故障がなくなることによる氷販売量の増加」には、魚商人への販売額も含まれており、「製氷機の改築による製氷の質の向上に伴う販売高の増加」の算出基礎となる魚商人への販売額と二重計上となっていたため、「製氷機の故障がなくなることによる氷販売量の増加」の目標値を補正した。 		
その他特筆すべき事項	<p>整備前は、年間の保守管理経費が787,200円かかっていたが、整備を行ったことで年間平均217,451円となっており、整備前と比べて569,749円のコスト削減となった。</p>		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考	<p>漁業者の減少や、漁場の拡散により販売量が減少することが予測される。特に好調な鯉一本釣り漁船の水揚げが他漁協で行われる場合があるので、地元漁協の利用促進を図り、氷の販売量の増加につなげる。</p>		